



サケの赤ちゃんが、銀鱗を踊らせ、早春の清流に姿を消す。北洋をめざす3千キロにも及ぶ長旅への出発。ふるさとの「登別川」に舞い戻るのは4年後。「元気で」と、声をかけて送り出しました。

NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'92. **4.1**
No.498

■人口/56,844 ■世帯/20,094 (前月比=人口+48・世帯+38) 平成4年2月末現在

春の交通安全運動 (4月6日~4月15日)

① ◎新入学(園)児を交通事故から守ろう!!

市民総参加のまちづくり

平成4年度 市政執行方針



市政執行の方針を発表する上野市長
(3月2日平成4年第1回定例市議会)

三月二日開会された平成四年第一回定例市議会で、上野市長は、平成四年度の市政執行の基本的な考えと施策の大綱を発表しました。

その中で市長は、「就任以来今日まで一貫して『市民の心をひとつにしたまちづくり』を基本理念として市政を進めた結果、コミュニティ活動やボランティア活動の輪が広がり、逐次その芽が生まれてきており、残された任期もあとわずかですが、登別市発展のために全力を尽す」との決意を表明しました。

本号では、市政執行方針の概要についてお知らせします。

基本的な考え方

平成四年度の市政執行について、基本的な考えを申し上げます。

第一は、各種計画・指針に基づく施策の推進についてであります。今後のまちづくりのガイドボストとして「観光振興基本計画」「ごみ処理基本計画」「高齢化対策指針」「障害者のまちづくり指針」などの計画や指針を多くの市民の皆さんのご意見を頂き策定してまいりました。

第二は、行政機能の充実と市政運営の簡素効率化についてであります。

私は、今回の予算編成にあたり、職員に新たな視点による発想の転換を求めました。それは、人々の価値感が「経済効率」や「物質的



豊かさ」から「ゆとり」や「心の豊かさ」へと重点を移しつつあるいま、行政もこれまでの慣例や仕組みにとらわれず積極的にイノベーションに挑む気概が必要であると考えたからです。市民のニーズに対応し、よりきめの細かな行政サービスを展開するため、本年は、広聴機能の充実や国際化、情報化への対応を重点とした手直しを行うこととしました。事務の効率的な推進と心の通った市政運営を図るため、本格的なOA化に取り組むこととし、その前段階として汎用コンピューターをグレードアップし、行政情報の根幹をなす住民基本台帳のシステム化に向けて調査・研究をすすめてまいります。

公共施設の整備については、桜木保育所の統合とオロフレ荘の民間委譲を実施してまいります。

開かれた市政をすすめるうえで、行政情報の提供は極めて重要です。文書の開示については、これまで

も可能な限り対応してまいりましたが、今後さらに新たな文書開示の基準や手続きを定め、より一層サービスの向上に努めてまいります。また、押印の省略については、事務手続き簡素化の一環として、今回、公共施設利用申請書等の押印を廃止することとしましたが、引き続き検討をすすめてまいります。

第三は、財政の健全化についてであります。

私は、これまでも厳しい財政状況の中で、増大する市民ニーズへの対応と財政の健全化に取り組んでまいりました。

財政硬直化の要因のひとつとなっている登別振興公社の債務については、平成二年度から新たな償還計画に基づいて計画的な返済に努めており、また、土地開発公社の債務解消については、毎年度可能な範囲で土地の買い戻しを行ってきた所であります。また、累積

◎企業誘致などで税源のかん養



近年、行政に対する需要はますます多様化し、かつ、質的にも大きく変化しています。これらに適切に対応するためには財政の健全化が緊急かつ重要な課題です。このため行政の簡素・効率化を図り、企業誘致や大規模プロジェクトの推進、地場産業の振興などによる税源のかん養に努めます。

◎公共施設の見直しなどの行政の簡素・効率化



既存施設の役割や市民ニーズの動向などを踏まえ、合理的で利用効率の高い公共施設の整備を図ることが必要です。今後は先の「行政改革懇談会」の答申を十分に踏まえ公共施設の整備を進めていく方針です。また、事務の効率的な推進と市政運営を図るため、行政情報の根幹をなす住民基本台帳のシステム化に向けて調査・研究をすすめます。

◎市政懇談会などで市民と対話



開かれた市政をすすめるうえで、行政情報の提供は極めて重要です。市民の皆さんに正しい情報を提供し、市政への関心を高めて頂くため広報活動の充実を図るとともに、市民の行政に対するニーズに対応し、よりきめ細かな行政サービスを展開するため、広聴活動の充実を図り、多くの市民の方との対話をすすめます。

債務が増加している国保会計については、健康づくり事業の推進、適正な受診指導、税率の改正、収納率の向上対策など事業の適正な運営に努めるとともに、一般会計からの繰り出しを行い単年度の収支バランスに配慮しました。さらに、企業誘致や大規模プロジェクトの推進、地場産業の振興などによる税源のかん養にも努めてまいりました。しかしながら、依然として収入源が弱い弱な当市の財政構造を体質的に改善するには至っておりません。したがって、今後とも市民の皆さんの御理解と御協力を頂きながら財政の健全化に向けて引き続き最善の努力を積み重ねてまいります。

基本的には通常予算として編成をいたしました。また、行政の簡素効率化と経費の節減合理化に意を用い、限られた財源の重点的配分を基本として、国や道の補助制度を活用した継続的な公共事業を始め、これまで平成四年度に着手すべく調査・検討を行って、準備の整ったものについて予算化を図ることといたしました。

当面する重要課題

その第一は、「災害に強い安全なまちづくり」についてであります。災害防止のためには、これまでも河川の改修や幹線排水路の整備に意を用いてきたところでありますが、集中豪雨のときには、一部低地帯において住宅浸水や道路冠水などの被害が生じております。このため、昨年九月の災害の実

態をもとに、大雨災害に対する緊急の取り組みを実施し、環境の改善を図ってまいります。河川改修については、岡志別川の改修事業の促進を図るとともに、西富岸川、ヤンケシ川改修事業の事業費を増額し、その促進を図ることとしました。

また、主要幹線排水路については、その現況について点検調査を実施するとともに、千歳、中央地区の雨水函渠については、本年度中にその完成を図ることといたします。また、大雨のつど浸水を繰り返している低地帯については、重点的に排水施設の改修を実施してまいります。なお、万一災害が発生し、市民に避難の必要が生じた場合の対策として、避難所に表示板を設置し、その周知を図ってまいります。

第二は、「総合福祉センターの建設」についてであります。本格的な高齢化社会の到来に伴い、ますます多様化し増大することが予想される福祉・保健ニーズに対応するため、今後、行政や民間福祉団体、医療関係者などが協調して行なう福祉活動の拠点となる「総合福祉センター」の建設に着手することといたしました。

第三は、「幌別地区商店街近代化」の推進についてであります。幌別地区の商店街近代化は、幌別駅から富士橋を通過して旧新日鉄社宅入口交差点までを拡幅する街路の整備と核店舗の建設から成っております。核店舗の建設については、協同組合登別中央ショッピングセンターが事業主体となり、本年度事業に着手いたしますので、市としてもこの事業が円滑に推進されるよう、国や道の補助制度を活用しながら積極的に支援をしてまいります。

平成四年度の主要施策 一、「たくましい産業の育成」

観光については、登別観光の伸展に寄与するよう交通アクセスの整備や観光情報サービスの向上を図ってまいります。また、昨年策定した「観光振興基本計画」に基づき、引き続き観光ホスピタリティ推進事業や温泉地域総合整備事業などを実施するほか、カルルス温泉スキー場の整備を図るとともに、これに接続するカルルス東雲線の拡幅整備に向けて調査を実施します。

農業については、農道や営農用水など、生産基盤整備と付加価値を高めるための農産物加工の促進を図るとともに、観光産業との結びつきを図るファーム・インなどについて検討してまいります。

水産業については、海底調査結果に基づいた漁場造成の検討を行うとともに、胆振太平洋海域漁業振興協議会が協調して行う養殖事業を推進してまいります。

工業振興については、技術力や新製品開発力を高めるとともに、食品加工の取り組みを強化するため、室蘭テクノセンターや本年二月設立された道立食品加工研究センターを活用して、情報の提供や技術指導を受けるとともに、異業種交流を進めてまいります。また、地場産業の生産振興と新たなビジネスチャンス創出のため、市内工業製品を一堂に会した「産業フェア」の開催を支援してまいります。

商業振興については、消費者ニーズの多様化に対応できる魅力ある商店街の形成を図るため、引き続き商店街近代化推進協議会の活動を支援するとともに、地域の人がととのふれあいを深めるため商店会が実施するイベントに助成をしております。

労働対策については、高齢者の知識や経験、技能の活用とその生きがいの充実を図るため、従来の高齢者事業団に代えて「シルバー人材センター」を設立し、高齢者

にふさわしい就業機会の開拓を積極的にすすめてまいります。

二、「健康で心ふれあうまちづくり」

すべての人々が、健やかにいきいきと暮らすことのできる地域社会を実現するためには、地域医療や民間福祉団体との連携による社会福祉システムの構築に加え、地域の福祉サービスを担う人材の確保とボランティアの育成が重要であります。このため、ホームヘルパーの増員を行うとともに、地域福祉に欠くことのできないボランティア活動の助長を図るため、ボランティアセンターの設立とその活動を支援してまいります。また、寝たきり老人等の家庭内介護者に対する情報提供や介護技術の指導、介護者相互の交流やリフレッシュを図るため、社会福祉協議会が行う「寝たきり老人等」の介護者支援体制強化事業」を支援してまいります。シヨートステイ事業については、恵寿園の受け入れ体制を整備するほか、北海道リハビリテーションセンターとの契約により、虚弱老人、独居老人さらに重度の障害者についても、実施することといたします。

家庭で保育に欠ける障害児の健全な成長、発達を促すとともに、幼児期からノーマライゼーション意識の醸成を図るため、富士保育所においてその受け入れ体制を整

備し、統合保育を実施します。国民健康保険事業は、保険税の限度額については、国がさらに引き上げることとしておりますが、本市としては、三年連続して引き上げを行いましたので、本年度は据え置くことといたしました。

また、助産費につきましては、政府管掌健康保険制度における給付額に合わせるよう、国の財源措置が図られることになりましたので、給付額を現行十三万円から二十四万円に引き上げることといたしました。

新生、若草地区にコミュニティ活動の拠点施設として「若草つどいセンター」を開設し、その活用を図ってまいります。なお、その運営については、今後多目的な規模複合施設のモデルとなるよう図ってまいります。

国際交流については、市民の海外派遣事業を引き続き実施するとともに、新たな取り組みとして、中学生を海外に派遣し、国際感覚を備えた人材の育成を図ってまいります。

三、「快適でいるおのがあるまちづくり」

道路の整備についてであります。先に申し上げたほか国道については、幌別バイパスと登別駅前交差点の整備促進を図ってまいります。道道については、上登別室蘭線富士通りの改良整備が橋梁新

設を含めて行われることになりましたので、用地の取得に協力し、その整備促進に努めてまいります。市道については、カルルス路線、中登別十号線、千歳二十号線の改良整備と中央通り舗装補修事業を実施してまいります。また、巡回パネル展や道路フェスティバルなどを開催する「アイラブロード推進事業」を実施します。

下水道事業については、整備区域の拡大と水洗化率の向上に努めるとともに、雨水対策として都市下水道の整備をすすめます。上水道事業については、人口急増地区の安定的な給水の確保を図るため、配水池新設に係る調査を継続いたします。また、新たに富浦町一丁目配水管の布設を行うとともに、低水圧地帯の解消を図るための配水管の整備を進めてまいります。

公園等についてはありますが、川上公園内の野球場の整備は、平成五年度のオープンを目指してすすめてまいります。また、自然を生かした市民のスポーツ、レクリエーションの場として幌別川自歩道と鶯別岬遊歩道の整備をすすめます。

公営住宅については、緑ヶ丘団地の四号棟の建て替えに着手します。一階の四戸については、段差を解消し、浴室、トイレに手すりを設置するなどして老人向けとし、入居条件を考慮に入れ、第二種住宅といたします。また、鶯別市営

住宅については、同地区内の道営住宅と合わせ、すべてを道営住宅として建て替えることといたしました。平成五年度から建設に着手される予定となりましたので、本年は、旧住宅の解体と一部民有地の買収及び建物の移転をすすめてまいります。

交通安全対策についてであります。川上路線は、歩行者の安全を確保するため、計画的に歩道の新設をいたします。また、鶯別学田踏切については、踏切改良工事に着手いたします。

ごみの減量、再資源化については、生ごみのたい肥化を行うコンポストの需要が多いので、引き続き購入助成を実施するとともに、ごみの減量化を図るため、モデル地区を選定して資源回収システムの構築に取り組んでまいりました。登録方式リサイクルシステムが、普及がりましたので、四月から、全市的にこれを実施してまいります。

救急体制については、救命率の向上を図るため、救急車内での応急措置の実施範囲が拡大されたことに伴い、これに対応できる職員の養成を計画的にすすめることといたします。必要な装備をそなえた新型車両を配備することといたしました。



教育行政執行方針を
発表する後藤教育長

平成4年度 教育行政執行方針 (抜粋)

私は、本年度の行政執行の基本
的信条として、「ふれ合いを広げ、
学びあいを通して心温まる、うる
おいと香り漂うまちづくり」を標
榜し、その具現化を図ってまいり
たいと思っておりますので、御支援をお
願いたします。

学校教育にあつては、義務教育
九か年を通した一貫教育を更に推
し進め、学ぶ喜びを体得し創造的
な学力を通して、知性、徳性を育
で、たくましい身体をもって行動
できる児童・生徒の育成に努めて
まいります。また、社会教育にあ
つては、心身ともに豊かで快適な
生活を営むため、自ら創造し、実
践する学習活動を促進し、市民と
して自己の向上を通してまちづく
りに寄与できるよう努めてまいり
ます。そのために、生涯学習の体
系化とその促進を図り、学校・家
庭・地域の総合的な機能を最大限
に發揮されるよう教育行政を更に
吟味し推進することによって市民
の期待に応えてまいります。

教育行政の重点事項

小学校にあつては、本年度から
新学習指導要領が全面実施となり
ますが、特に「生活科」について
は、学ぶ主体である児童の側に立
った新しい小学校教育の改善を目
指すものであり、今後の小学校教
育の在り方を変えていくものとし
て、その実効をあげることが必要

であります。

また、中学校にあつては、明年
度の改訂実施に向けスムーズに移
行できるよう、登別中学校を中心
に市内各中学校にコンピュータ
を導入設置いたします。

教職員の資質向上については、
昨年にひきつづき研究指定校を設
け、その成果が着実に実っていく
ことを指向してまいります。

交通安全教育については、全道
で本市のみが指定を受け実践して
おります「交通安全教育推進事業」
の一層の深化、発展に努め、その
実を挙げてまいります。

国際理解教育については、本年
度新たに中学生による北欧への海
外派遣を実施いたします。

生徒指導については、学校、地
域、関係機関の一層の連携を深め
ることによって、より健全な育成
をめざしてまいります。

障害児教育については、多様な
体験やふれ合いを大切にした交流
教育を積極的に展開してまいりま
す。

学校教育施設の整備については、
幌別小学校の改築をひきつづき、
事業採択、補助単価の増額改訂等
について道、国への要請を続け、
改築に向けての準備を進めてまい
ります。また、登別中学校の大規
模改築事業をひき続き実施いたし
ます。

社会教育の充実、振興

「豊かな人間性を培うため、市民
が意欲的に学べる生涯教育の推進
に努める」ことを基本とし、生涯
の各期における自発的で、充実し
た社会教育活動の奨励、潤いのお
る個性に富んだ芸術、文化活動の
振興と、文化遺産の保護継承、健
康の保持増進のため、進んで参加
できるスポーツや余暇活動の充実
に努め、市民の要請に応える学習
活動の奨励や援助を進めてまいり
ます。

学校週五日制の実施を展望した

対応について申し上げます。

本年度は、各種団体、父母、行
政機関による推進のための協議機
関を設け適切な援助ができるよう
対応してまいります。そのため、
新たに国の補助制度による生涯学
習アドバイザーを配置いたします。
現在、各小・中学校においては、
この学校週五日制に向け現在の教
育水準を維持することを前提とし
た教育課程の検討に入っております。
教育委員会といたしましては、
今後の推移をみて中学校区単位で
学校週五日制研究指定校を設け実
施期に向け十分な対応を進めてま
いりたいと考えております。

平成4年度 広報モニターを募集します

市は、市民参加の広報紙づくりをすすめるため、
「登別市広報モニター」を募集します。

広報紙へのご意見など日頃市の広報活動につ
いて感じていることをお聴かせください。

- ▷ 募集人員 5名
- ▷ 応募方法 4月15日までに総務課広聴広報係
(☎051130)へ電話でお申し込みください
- ▷ 業務内容 (1)年2回開催する広報モニター会議
に出席のうえ市の広報活動に関し意見を述べる
こと (2)定期・随時に意見、要望等を文書で提
出すること
- ▷ 応募資格 登別市民であればどなたでも結構で
す

市民総参加の まちづくりに向けて 新年度予算スタート

平成4年度 事業の あらまし

三月二日から開会された平成四年第一回登別市議会定例会で、平成四年度予算が可決、成立しました。
平成四年度予算は、一般会計が百七十四億五千四百万円、特別会計、水道会計を含めた総額は二百八十三億三千四十二万二千元となり、平成三年度当初予算と比べると六・九％増の予算となっています。
内容は「たくましい産業の育成」「健康で心ふれあうまちづくり」、「快適でうるおいのあるまちづくり」を重点に編成されており、四月からまちづくりに向けてスタートします。

福祉・環境

◎総合福祉センター建設事業費
(四億六千四百七十万円)
多様化し増大する福祉ニーズに対して福祉活動の拠点となる「総合福祉センター」を建設します。
◎ごみ減量化推進事業費(七百万七千円)
ごみ再資源化事業への補助金や生ごみ堆肥化容器購入の方へ購入費の一部を補助します。また、ごみリサイクル事業を行います。
◎公園事業費(三億八百八十万円)
川上公園の野球場新設や幌別川サイクリングロード新設、鷺別岬遊歩道の新設等を行います。
◎公営住宅(緑ヶ丘団地三、四号棟)建替事業費(二億三千五百五十四万七千円)
平成三年度に着工した四階建一棟(十六戸)が完成するほか、四年度には五階建(二十戸)一棟の建設に着手します。いずれも一階部分を老人向け世帯とし、スロー

教育

プを設置するなどの配慮がなされます。
◎公共下水道事業(九億五百二十万円)
平成二年十月に一部供用開始した公共下水道の幹線管渠等の布設や終末処理場の整備を行います。
◎教育用コンピューター導入経費(九百一十二万円)
登別中学校に二十台、その他五校に各二台、計三十台の教育用コンピューターを導入します。
◎幌別小学校校舎改築実施設計委託料(三千六百三十二万六千円)
幌別小学校校舎改築に向け実施設計を行います。
◎登別中学校校舎改築事業費(九千四百七十三万三千円)
登別中学校校舎の床、内壁、天井等の改修を行います。
◎生涯学習推進アドバイザー設置費(二百二十二万円)
生涯学習推進アドバイザーを設

道路・河川

置し、青少年教育、家庭教育、成人(一般)教育、婦人・高齢者教育や地域まちづくり活動の指導助言を行います。
◎市道路線改良舗装事業費(二億六千六百五十万円)
カルルス路線の改良や中登別十号線の改良、千歳二十号線の改良を行うほか、鷺別学田踏切の改良も行います。さらに、道道上登別室蘭線柏木通排水路の改良を行います。
◎市道舗装排水整備事業(四億四千八百万円)
幹線排水路等の整備や道路の舗装整備を行います。平成四年度は幹線排水路等三十七本のほか、道路改良・舗装を五十三本行います。

安全

◎交通安全施設整備事業費(二千五十万円)
交通安全対策として川上路線に歩道を新設(百三十坪)します。そのほか、照明灯の設置(十五基)、道路反射鏡の設置(十基)等を行います。
◎救急車購入費(二千五百万円)
救急患者の応急処置が可能な器材を積載した救急車を購入します。
◎避難所表示板設置費(百六十六万円)
万一の災害に備えて屋内避難所

農林・水産

所に表示板、標識を設置します。
◎地域沿岸漁業構造改善事業補助金(八百七十五万円)
◎鷺別漁港関連道整備受託事業費(九千五百七十八万七千円)
鷺別漁港関連道整備のため、用地買収等を行います。
◎地域振興事業(鬼サミット・登別)補助金(五百万円)
平成二年八月に開催された全国規模のイベント「鬼サミット・登別」に五百万円を補助。鬼情報の集積、文化講演会等のイベントを通してまちおこしを図ります。
◎登別温泉地域総合整備事業費(三千四百万円)
平成四年度は、大湯沼の奥の湯展望台改修、公衆便所改修のほか植栽を行います。

観光

その他

◎国際交流に要する経費(一千五十万円)
新たな取り組みとして中学生を海外に派遣(六百五十万円)するほか、市民の海外派遣事業を引き続き行います。
◎いきいき人とまち推進事業費(一千二十万円)
地域活動事業等を行います。

町内会等の集団 資源回収は

「登録方式 リサイクル システム」で!!

市は、平成四年度から「登録方式資源リサイクルシステム」により、全市的にごみの減量、再資源化に取り組みます。このシステムの概要については、広報三月一日号でお知らせしましたが、今号では、このシステムで回収する資源やその出し方などについてお知らせします。

今後、各町内会等を対象に、このシステムについての説明会を開く予定ですが、同システムの第一種回収資源は、いままで通り資源回収業者が回収します。また、第二種回収資源については、登録資源リサイクル協会が主体となって回収します。

このため、実施にあたっては、各町内会の代表者や資源回収の担当者、資源回収業者、登録資源リサイクル協会及び市との打ち合わせを行い、実施体制が整った町内会等から取り組んでいただきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

登録方式資源リサイクルシステム

種類	回収する物	出し方	集積場所	回収日	備考
第一種回収資源	新聞紙 ・新聞紙 ・チラシ (油紙、カーボン紙、ろう加工紙は除く)	・B4に重ね、ひもで十文字にしぼる	各町内会50世帯に1か所の割合で指定した場所に出す 【サブステーションの活用】	毎月指定の週に出す (日曜、祭日はきける)	
	雑誌 ・雑誌 ・本類	・ひもで十文字にしぼる			
	ダンボール ・ダンボール ・菓子箱、洋服箱はダンボールと別にして出す (アルミ・ビニール・ロウ引の物、発泡スチロールの付いた物、糸入りの物は除く)	・折りたたんでしぼる			
	生ビン ・ビール、コーラ、サイダー、ジュース、一升ビン (油ビンは雑ビン) など ・生きビンケースも含む	・口金を取り、ビンの中に異物を入れない			
	衣類 ・タオル、シーツ、カーテン、上着、下着、背広、オーバー、セーターなど (防水性の物、綿が入った物は除く)	・ダンボール箱に入れて出すか又はまとめてしぼって出す ・下着は、洗濯してから出す			
牛乳パック	・牛乳、コーヒーなどのパック (内側がアルミのパックは除く)	・洗って開き乾燥させて、ダンボール箱か紙袋に入れて出す。又は、しぼって出す (ビニール袋には入れないこと)			
第二種回収資源	金属類 ・鉄くず、金属くず ・自転車、家電も含む (金属類がほとんどない、テレビ・掃除機などの家電は除く)	・小さい物は、まとめてしぼるかダンボール箱に入れて出す	各町内会1か所とし指定した場所にてまとめて出す (集会所など)	毎月5日に回収	
	空きカン ・アルミカン ・スチールカン ・スプレー、缶詰のカンも含む	・アルミ、スチールの区別不要、圧縮不要 ・ダンボール箱又は紙袋、ビニール袋に入れて出す ・洗ってから出す(特に缶詰のカン) ・スプレーのカンは、穴を空けてから出す	各町内会1か所とし指定した場所にてまとめて出す (集会所など)	毎月15日に回収	当日が日曜、祭日の場合は、平日まで順延する
	雑ビン ・生きビン以外のビン ・油ビン、化粧品ビンも含む (耐熱ガラス、瀬戸物は除く)	・無色透明、茶色、その他の色の3種類に分けて出す ・口金を取り、ビンの中に異物を入れない	各町内会1か所とし指定した場所に3種類のドラムカンを設置して、その中に入れる	毎月25日に回収	

※このシステムについてのお問い合わせは環境衛生課計画係☎(85)2958へ

「生ごみ堆肥化容器」 購入費の一部を補助します

市は、家庭生ごみの自家処理を促進して、ごみの減量化と生ごみの有効利用を図るため、「生ごみ堆肥化容器」を購入する方に、購入費の一部を補助しますので、ご希望の方はお申し込みください(なお、既にこの補助を受けている方は除きます)。

生ごみ堆肥化容器の使い方

- ① 日当りのよい土地をよくならし地中五〜六センチに埋めて置く
- ② 台所の生ごみ等を入れる。くさらないものは入れない(金属・プラスチック・ガラス等)
- ③ 台所の生ごみは水分を多く含んでいます。多すぎる場合には枯葉などを入れてください
- ④ 生ごみがある程度の厚さ(二十センチ前後)になったら生ごみを発酵させるため土をかけてください
- ⑤ 下部の黒く堆肥化したところから使用します。土中のバクテリアによって生ごみが発酵し、分解されて堆肥化されます

「生ごみ堆肥化容器」 登録販売店募集

市は「生ごみ堆肥化容器」を購入される方へ購入費の一部を補助するにあたり、容器を販売し、購入者に代わって補助金請求事務を取り扱っていただける販売店を募集します。

なお、四月十五日から容器購入者の申し込み受け付けを開始しますので、お早目にお申し込みください。

◎対象販売店 市内に所在する店舗(登録済の店は、申し込み不要です)

▽申し込み・問い合わせ 環境衛生課(☎852958)へお申し込みください。

▽対象者 家庭から出る生ごみを自家処理しようとする方で、市内に居住している方

▽対象容器 容量が百リットル以上のもの

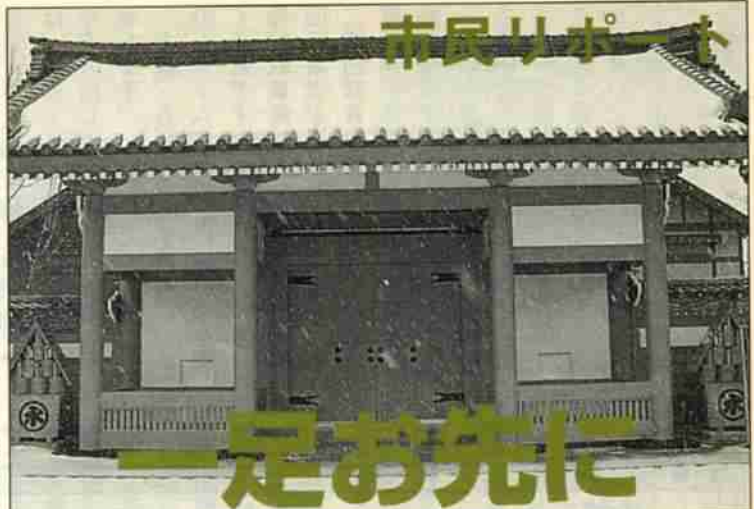
▽補助額 購入する容器一個当たり二千円

▽補助個数 五百個(一世帯一個)

▽申し込み 四月十五日から(五百名で締め切ります)

▽申し込み方法 環境衛生課(幸町清掃工場内)、市役所市民課、各支所に申し込み用紙があり、その場で印鑑(朱肉を使うもの)を持参してお申し込みください

▽問い合わせ 環境衛生課(☎852958)



一足お先に 江戸時代でござる

リポーター 丸山由紀

「登別伊達時代村」は、登別の新しい観光名所のひとつになるべく、四月二十三日にオープンします。そこで、一足お先に村内を見学させて頂きました。

「登別伊達時代村」は、伊達政宗の名参謀として活躍した片倉小十郎の子孫が、明治の初め登別に入植したことにちなんで造られました。

約八万六千坪の広大な敷地の中に九十四棟の武家屋敷、商家、長屋などが江戸時代の町並みそのままに再現されています。北海道にはめずらしい宮造りの建物、それらの屋根すべてが瓦で、使った枚

数が四十万枚とか。その素晴らしさは、片倉小十郎邸を見れば一目りよう然で、総工費百二十億円というのもうなずけます。村内は、伊達藩の盛衰を映像で



戦国時代を思わせるよろい、

紹介する片倉小十郎邸や絢爛豪華な花魁ショーを上演する仙台小田原遊廓もみ屋などがあります。そのほかにも、芝居小屋や「怪猫」をテーマにしたお化け屋敷、妖怪びつくり小屋などがあります。私が一番楽しみにしているのは、忍者ショーを上演する忍者かすみ屋



瓦屋根が美しい

今年のゴールデンウィークは、登別マリンパーク・ニクスや登別クマ牧場、四月二十九日にオープンする中国庭園の天華園、そして私が自信をもっておすすめする登別伊達時代村で楽しんでみてはいかがですか。

お客さんも忍者や花魁の姿に変身できたら楽しいだろうなあと一人考えてみたりしました。初年度の入場見込者は百万人とか。施設に対する関係者の自信のほどがうかがえますが、それに充分応えられる仕上がりになっていると感じました。第二期工事では、奉行所や天満宮、黄金の茶室の建設が予定されており、これらが完成すると更に楽しくなりそうです。

敷です。また、昔なつかしい南京玉すだれやガマの油売りなど楽しい大道芸が披露され、村内を歩いていると必ずどこかで楽しいイベントが見られそうです。商家街は、すべて土産品店となるので、そこで働く人たちは江戸時代の雰囲気をつくりだすためにかつらに和服といったスタイルになるとのこと。お客さんも忍者や花魁の姿に変身できたら楽しいだろうなあと一人考えてみたりしました。初年度の入場見込者は百万人とか。施設に対する関係者の自信のほどがうかがえますが、それに充分応えられる仕上がりになっていると感じました。第二期工事では、奉行所や天満宮、黄金の茶室の建設が予定されており、これらが完成すると更に楽しくなりそうです。



江戸時代へ来たような錯覚をおこす町並



美しい曲線を描く木橋

市民リポート

中国「清」の時代へ タイムスリップ

リポーター 大屋 二三枝

「天華園」は、中国の清の時代の建築様式を取り入れた中国庭園です。中国庭園の建築物としては、本場中国を除き、ここが世界一と。設計から施工に至るまで中国の人の手によるもので、ここでは百六十六人の中国人が工事に携わっています。



色彩の美しい絵が壁を飾っている

ここが見どころ ベストスリー

工事の途中でしたが、私が特に気に入った所をご紹介します。

まず会堂。この天井にはめ込まれている絵が実に美しいのです。油画工という職人の手によるものだとのことですが、色彩の鮮やかさが心に残りました。建築物の外観も中国ならではの朱を中心とした色がふんだんに使われており、独特の絵模様が目にとまります。



大仮山は大・小の石を積み上げてできている



次に大仮山。大小様々な石をフランスよく積み上げ、山を築いています。ここは完成時には滝も設けられて、小さな洞窟の中を歩く、その滝の裏側に出るという趣向です。

三つ目は門殿。この入口には一対の獅子が飾られており、朱塗りの回廊を進むと、中国へと導びかれて行きます。

このほかにも見どころは色々ありますが、「天華園」のシンボルである五重の塔「宝塔」や茶室等は



門 花 垂

オープン時にはまだ完成されないのが残念です。

オープンを 控えて

四月二十九日のオープン時には、中国の古典音楽や雑技団の公演などが披露されるのも楽しみみのひとつです。

この春からは温泉や登別マリンパーク・ニクスに加え、この「天華園」、そして登別伊達時代村と見どころも増える登別。さて、皆さんはどこへ足を運びますか。

観光地として新たな展開を始めた登別市。今回は、その観光の一翼を担って四月二十九日にオープンをする本格的な中国庭園「天華園」を見学しました。この日は生憎、みぞれ混じりの空模様でしたが、工事もオープンに向けて急ピッチで進められていました。



会堂へ通じる門

友達の輪



玉川裕史さん

(40歳) 温泉町在住

昨年、一昨年と「鬼サミット・登別」で物産部門を担当しました。物販の商品ですが、昨年は二回目でしたので、一回目と違う品物、たとえば地酒なんかは、前年に扱わなかった銘柄のものを集めてみたんですが、鬼に関する品物の数が限られているため、集めるのに苦労しましたねえ。売り上げは一昨年よりやや減りました。初めてのときは、PRにも力を入れられたから。

昨年の「鬼サミット・登別」を終えて感じたことですが、これは物産部門に限らないんですが、今後はもっと多くの人が興味を示す内容を考えなくては、ということですね。鬼にこだわってサミットを企画したため、一部の人やマスコミの受けは良かったんですが、一

般の方には気軽に参加できない面があったようです。企画する私たちの視点を少し変えて、市民の皆さんがもっと魅力を感じる内容にする必要がありますね。物産部門も、今後は鬼に関するものは展示という形で残し、販売は広く地元の商品を加えていくことを考えています。

昨年は、市内の各小学校に金棒を配って運動会の競技に使ってもらい、その決勝戦をサミット当日にやってもらいました。当日だけ盛り上げるのでなく、このような事前PRで市民の意識を高めることが大切だと思っています。

(リポーター 塚野道代)
次回は、新生町在住の門山キヌさんです。
お楽しみに!!

「国民健康保険被保険者証」の更新手続きを行います

広報三月十五日号でもお知らせしましたが、新しい「国民健康保険被保険者証」の更新手続きを行います。

現在使用されている被保険者証は、四月三十日で有効期限が切れますので、忘れずに手続きをしてください。

▽持参するもの 旧被保険者証、印鑑、前年の所得状況が分かるもの(市民税等の申告がない場

合)、在学証明証(子供が修学のため他の市区町村に居住している場合)

▽問い合わせ 保健衛生課(☎551771)

※保険税が未納の方は、お早めに納付してください。また、当日は保険税の納税相談、保健婦による健康相談(健康手帳をお持ちの方は持参してください)も行いますので、お気軽にご利用ください。

「国民健康保険被保険者証更新日程表」

月	日	曜日	時間	実施地区	実施場所
10	全	13:30~16:30	高浦町、幸町	高浦会館	
		13:30~16:30	登別温泉町、中登別町、上登別町	登別温泉公民館	
		13:30~14:30	カルス町、上登別町	カルス婦人協会の家	
13	月	10:00~16:00	若草町、新生町、上登別町	榎 和 園	
14	火	10:00~16:00	繁栄町、栄町、美園町	繁 栄 公 民 館	
15	水				
4	16	木	10:00~16:00	若草町、新生町、上登別町	千代の台集会所
	17	金	10:00~16:30	登別東町、登別本町、登別港町、中登別町、札内町	登 別 支 所
月	18	土	10:00~11:30		
	20	月	10:00~16:00	美園町、上繁栄町	ひまわり園
	21	火	10:00~15:00		
	22	水	10:00~16:30	栄町、高岸町、若山町、大和町	高 浜 児 童 館
	23	木	10:00~16:00	麓山町、片倉町、川上町、富士町、新川町、柏木町	市 民 会 館
	24	金			
27	月	10:00~16:30	全 地 区	市役所第2庁舎(旧、中央公民館)	
28	火				

Community Identity Forum

ご参加ください
『C-Iフォーラム』

「C-I」って何のこと?
「まちづくり」とどんな関係があるの?
いま話題の「C-I」をテーマにフォーラムが開かれます。

まちづくりを考える市民グループ「いきいき人とまち推進会議」は、いきいきとした住みよいまちを作るため、「C-I」(コミュニティ・アイデンティティ)の手法を取り入れてはという機運が盛り上がり、ワーキング・グループを設けて、今後の進め方などを研究してきました。

当日、ワーキングでの検討内容をお知らせし、参加者との意見交換により理解を深めたいと思います。多くの参加をお願いします。

▽日時 四月十日(金)午後六時三十分

▽場所 市民会館

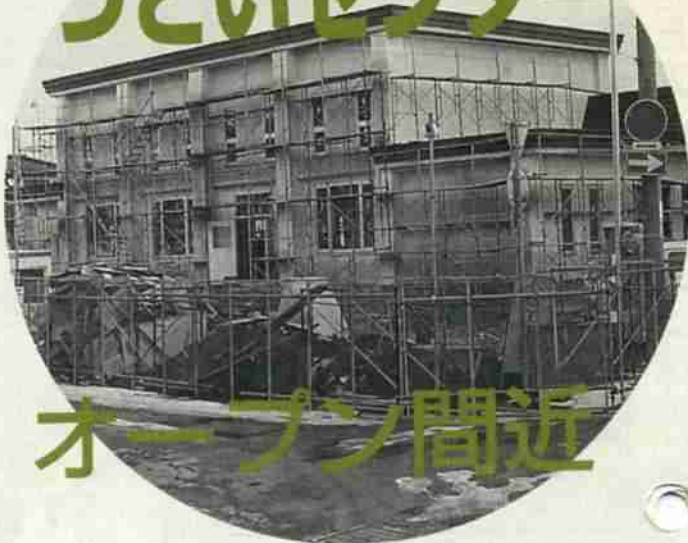
▽入場料 無料

▽問い合わせ 企画調整室(☎551122)

C-Iとは
コーポレート(会社)アイデンティティの略で、組織や企業がイメージを高めるため、名称を変えたり、デザインの統一などを行う経営戦略として知られています。

アイデンティティは「そのものの存在理由」という意味を持ち、いま「いきいき人とまち推進会議」が取り組もうとしているのは、「コミュニティ(地域)の存在理由を明らかにし、自分たちの住むまちを「いきいきとした住みよいまち」にするためすべての市民が共通認識を持って「まちづくり」の運動を進めようとするものです。

登別市若草 つどいセンター



オープン間近

若草町四丁目二十一番地で建設が進められていた「登別市若草つどいセンター」が間もなくオープン、利用開始となります。

同センターは、急激に住宅街が形成された若草新生地区の地域活動の拠点として設置され、子供からお年寄りまで、すべての住民のふれあい、いこいの場として集会やサークル活動、娯楽、軽スポーツ、調理実習、各種研修など多目的に活用できる機能を備えています。

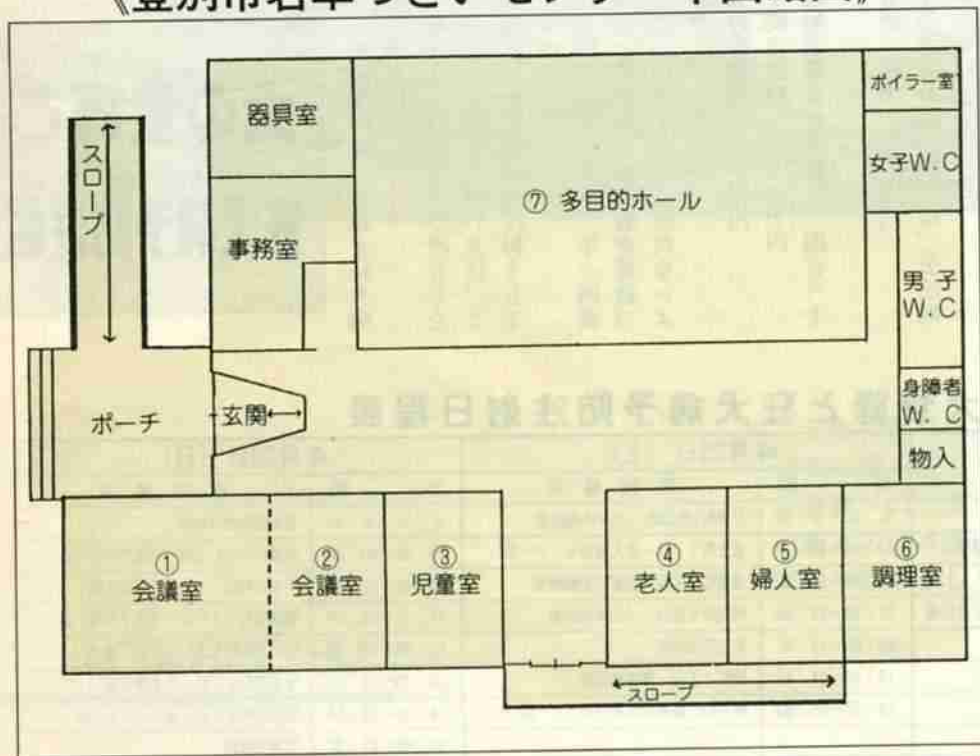
施設管理は、地域の住民の方が効率的に利用できるよう、町内会が市より委託を受けて行います。

◎この施設の利用については、次のことに注意してください。

▽利用開始月日 四月十三日(月)

- ▽利用時間 午前九時から午後十時まで
- ▽利用申し込み方法 若草つどいセンターに備え付けの使用許可申請書に必要事項を記入のうえ、同センターへ提出
- ▽電話番号 06-1205
- ※利用に当たっては有料となりますので、使用許可申請書とともに料金をお支払いください。児童室を利用する子供たちについては、無料です。利用料金の具体的な額は、広報四月十五日号に掲載する予定です。
- ▽日曜日の午前九時から午後五時までは、個人の利用となりますので、特定のサークルや団体は利用できません。
- ▽児童室の利用者は、十八歳未満

《登別市若草つどいセンター平面略図》



の方とし、登録制となつています。また、児童厚生員を配置し児童の健全育成に努めます。

◎お願い 若草つどいセンターには十八台分の一般車両、二台分の身障者用車両の駐車場を備えていますが、十分な広さを持たないため、近隣の方にはできるだけ徒歩でお越しくださいよう、ご協力をお願いします。

- ▽問い合わせ 社会課(☎06-1205-11)
- ☆利用できる室名
- ①会議室(大)②会議室(小)③児童室④老人室⑤婦人室⑥調理室⑦多目的ホール(バドミントン、卓球、ミニバレーボールなどの軽スポーツも利用可)

少年水泳教室 受講生募集

- 市教育委員会は、初心者を対象に少年水泳教室を開きます。
- ▽対象 市内に居住する小学生男女で初心者に限る
- ▽募集人員 低学年(小学一、二年生) 高学年(小学三、四、五年生) 各五十名(定員になり次第締め切り)
- ▽場所 登別市民プール
- ▽日程 高学年：四月十四日から四月二十五日までの日・月曜日を除く毎日、低学年：五月十二日から五月二十三日までの日・月曜日を除く毎日(低学年、高学年とも時間は午後四時から午後五時まで)
- ▽受講料 無料(スポーツ傷害保険料三百六十円は自己負担)
- ▽申し込み 高学年：四月八日から四月十二日まで、低学年：五月一日から五月五日まで、いずれも午後一時から午後五時までに電話で登別市民プール(☎06-1205)へ申し込みください
- ※受講者は水着、プールキャップ、バスタオルを用意してください。
- ◎今後の各種水泳教室の予定
- ・勤労青少年：六月下旬から七月下旬
 - ・婦人(前期)：六月初旬から六月中旬(後期)：九月下旬から十月初旬

カルルス「国民宿舎」廃止 四月一日民間経営で業務開始



「オロフレ荘」は、昭和三十四年に国民宿舎としてカルルス温泉の観光・地域振興に先導的役割を担って設置され、今日に至っています。

の老朽化により改修、修繕も必要となるなど、市での経営に限界があることから、「国民宿舎」を廃止し、民間に譲ることとしました。

市は、「国民宿舎」を廃止し、民間に委譲するという公共施設整備方針(案)を市民の皆さんにお示し、多数のご意見をいただきました。最終的には「行政改革懇談会」の廃止を妥当と判断する。との答申をいただき、廃止することになったものです。

開設以来三十二年間に渡り宿泊、日帰り入浴などで数多くの皆さんにご利用をいただいております。また、昭和五十三年度から実質的な赤字が続き、一般会計の負担も多額になっております。また、施設

今後、この施設は「オロフレ荘」の名称と従来からの電話番号を残し、民間での経営となります。また、いままでの日帰り入浴も、そのまま継続してまいりますので、引き続きご利用ください。

勤労者特別融資制度のご案内

市は、市内に居住する一般勤労者向けに各種融資制度を設けています。お気軽にご相談ください。

融資の申し込みは、北海道労働金庫室蘭東支店(☎453611)及び同金庫室蘭支店(☎221975)で取り扱っています。詳しい内容については同金庫又は商工労働課(☎852171)までお問い合わせ

種類	住宅・土地資金	生活資金(一般)
融資限度額	500万円	100万円
償還期間	30年以内	10年以内
利率	年5.78%	年7.82%

種類	生活資金(特別)	教育資金
融資限度額	30万円	200万円
償還期間	3年以内	6年以内
利率	年3%	年6.32%

※金利はいずれも償還が終了するまでの間は同率です(固定金利)

合わせてください。

犬の登録と 狂犬病予防注射

平成四年度の畜犬登録と狂犬病予防注射を行います。
生後九十一日以上及び所有した日から三十日以内の飼い犬は、この期間内に必ず登録と注射をしてください。

狂犬病予防法により、年一回畜犬登録と狂犬病予防注射が義務づけられていますので、忘れないよう注意してください。

▽登録手数料 二千円
▽予防注射料 二百六十円
▽注射済票交付手数料 四百八十円

◎合計 四千六百四十円
(予防注射料については、公示期間のみの料金です)

※往診の場合、往診料が必要です。
※登録及び予防注射をしないで人や家畜に危害を加えた犬は、殺処分になることがあります。飼主についても責任を科せられますので必ず受けてください。

なお、当日雨天の場合、延期することもありますので、午前九時までに環境衛生課(☎852958)までお問い合わせください。

畜犬登録と狂犬病予防注射日程表

4月19日(日)		4月25日(土)		4月26日(日)	
時間	実施場所	時間	実施場所	時間	実施場所
9:30~10:10	登別支所前	9:30~9:50	片倉町(西団地)・佐々木商店前	9:30~9:55	登別温泉公民館前
10:30~10:40	幸町5丁目・滝田商店裏・佐藤宅横空地	10:00~10:30	富士町7丁目・老人福祉センター前	10:05~10:30	中登別町219・道南バス温泉中学校前
10:50~12:00	登別市役所前	10:40~11:30	常盤町2丁目・登喜と運輸機前	10:40~11:10	中登別町80-1・かに福商店横
13:00~13:15	幌別町7丁目登別寮そば幌別7丁目広場	11:40~12:00	幌別中学校向い・山木商店前	11:20~12:00	登別東町4丁目39・食堂「天龍」前
13:25~14:25	片倉町4丁目・片倉4丁目公園	13:00~13:30	登別市役所前	13:00~13:30	登別支所前
14:35~15:30	柏木町(柏木団地横)・柏木公園	13:40~14:40	緑町2丁目・津村商店前	13:40~14:10	登別東町2丁目・山本商店前
		14:50~15:20	幌別町、鉄南ふれあいセンター前	14:20~14:50	登別本町2丁目・道コン住宅入口
				15:00~15:30	高浦会館前
時間	実施場所	時間	実施場所	時間	実施場所
9:20~9:50	鷺別町1丁目・鷺別郵便局前	9:20~9:50	栄町1丁目・楡の木公園	9:30~10:10	千歳町4丁目コープタウン内・つくし公園
10:00~11:15	鷺別支所前	10:00~10:30	栄町4丁目・富浜公園	10:20~11:00	富士町3丁目・ちびっこ広場
11:30~12:00	美園町3丁目・ひまわり園前	10:40~11:10	若山町3丁目沙平団地入口・玉田商店横	11:20~12:00	鷺別町4丁目・鷺別中学校グラウンドバックネット横
13:00~13:20	美園町5丁目・美園運動広場	11:20~12:00	若山町2丁目・あかしや遊園地	13:10~13:30	若草町3丁目・若草1号公園
13:30~14:00	美園町6丁目・桜美園入口	13:00~13:40	新生町2丁目・わらべ公園	13:45~14:15	若草町5丁目・優和園横 公園
14:15~15:15	若草町2丁目・さわか公園	13:50~14:20	新生町1丁目・ことぶき公園	14:30~15:00	新生町5丁目・老人憩の家 希望の家入口
		14:30~15:20	新生町3丁目・千代の台団地内 幼児公園	15:10~15:30	高岸町1丁目・高岸小学校グラウンド横

● 鉾山・川上・米馬・札内・カルルス・上登別地区の対象となる畜犬は、4月27日(月)次のとおり巡回します。
 忠寿園前(川上町) 9:20~9:30、幌別鉾山簡易郵便局前(鉾山町) 9:45~9:55、檜楽園前(札内町) 10:30~10:45、
 ハッピー牧場入口前(札内町) 10:50~11:05、権兵衛商店前(上登別町) 11:15~11:25、オロフレ荘(カルルス町) 11:35~11:45

● 犬の登録と注射を受ける飼育者へのお願
 1. 実施場所へ来る途中や実施地で事故のないようクサリ・つな等を短く持ち、飼育者のそばに常におくよう心がけましょう。
 2. 排便をした時、飼育者自らすみやかに処理するようにしましょう。
 3. 登録、注射後、犬のステッカーは、玄関等出入口にはり、プレートは、犬の首輪に必ずつけてください。

☆4月の土曜閉庁(休み)は11日と25日です